

第69回ウォーキングのご報告

5月17日（土）好天に恵まれ、岐阜市内南部の加納宿とその周辺を散策しました。加納の町は関が原合戦後の1601年、この地に加納城が築城され、城下町と中山道・加納宿の両方の役割と兼ねて発展しました。

JR岐阜駅に10名の会員が集合し、祭りで賑わう駅前でフラダンスを眺め、岐阜シティータワー43に向かいました。43階の展望フロアで岐阜市街はもちろん濃尾平野を見渡す大展望を堪能し、ここで集合写真を撮りました。



岐阜駅に元気に集合



駅前広場でフラダンスを鑑賞



岐阜シティータワー43展望フロアにて

この後JR東海道線の南へと移動し、かつて中山道が通っていた道筋を歩きました。昔の加納宿の面影は無く、普通の街中歩きと変わりありませんでしたが、所々に道標があり往時をしのぶことが出来ました。昼近くになって、岐阜駅に戻り、レストランでおいしい昼食を楽しみました。



かつての中山道を歩く



予約したレストランで昼食を楽しむ

昼食を済ませてから 1445 年旧加納城守護のため創建された加納天満宮を訪ね、参拝しました。その後清水川沿いに遊歩道を進み、水薬師寺に至り、ここから南に向かい岐阜大学附属小学校、中学校の前を通って加納城に着きました。



加納天満宮に参拝



清水川沿いの遊歩道を進む

この加納城は徳川家康が関が原の合戦後に西方を警戒し、交通の要衝を理由に築城を命じたもので、三河国出身の娘婿奥平信昌がここに配されました。しかし明治維新の廃藩置県で城は取り壊され、今では残念ながら石垣しか残っていません。



加納城内の広場を散策



草生す石垣の上を歩く

加納城散策後、近くの公園で一休みしてから、新荒田川沿いに歩を進め、最終の目的地にある江戸時代の力士鏡岩の碑と茶所の道標を確認し、再び中山道に戻り岐阜駅を目指しました。



鏡岩の碑と茶所の道標を見る



岐阜駅に向かい帰途につく

さわやかな好天に恵まれ、会話を楽しみながら歩き、おいしい食事をいただき、担当幹事さんの熱心な説明で加納の町についての見聞を広め、とても充実した一日でした。